Go!Go!授業づくり!シート

自立活動用　記入のポイント

幼児児童生徒名	A	B	C	D
指導目標 （長期目標） 区分と項目				
指導内容				
学習や生活の 中で見られる 長所やよさ 興味・関心				

★「**自立活動シート**」「**個別の指導計画**」「**年間指導計画**」などを参考に記入しましょう。

※「**自立活動シート**」は、島根県教育センターホームページ⇒学校・教職員支援⇒特別支援教育のページでダウンロードできます。

「**自立活動シート**」を参考にした場合は、「1. 実態把握」「2. 指導目標の設定」「4. 具体的な指導内容」の項目を確認しましょう。「**自立活動シート**」の内容と現在の児童生徒の状況を踏まえて記入していきましょう。

「個別で指導する場合」「集団で指導する場合」があります。学級の実態に合わせてお使いください。

★「指導内容」と「学習や生活の中で見られる長所やよさ、興味・関心」を基にして「単元の指導目標」「主な活動内容」を考えます。

この時にいろいろと考えたアイデアを書いて残しておくと、今後の単元で使えるネタになるかもしれません。決定した活動内容に〇をします。

幼児児童生徒名	
単元の指導目標 区分と項目	
単元名	
主な活動内容	

★単元の指導目標に合わせて活動内容を考えましょう。

例）目標：自分の気持ちや要求を相手に伝える。
　達成するために必要な項目：【人間関係の形成】【コミュニケーション】
　考えられる活動内容：
　〇相手と協力するゲーム（相手意識をもって活動する）
　〇大好きな先生を招待して遊ぶ
　（相手に気持ちや要求を伝えたくなるうな機会をつくる、やりとりの楽しさを味わう）
　〇絵カードや身振りを使ってやりとりを行う
　（コミュニケーション手段を身につけたり広げたりする）

参考資料）「自立活動の内容整理表」（島根県教育センター特別支援教育セクション作成資料）
障がいや障がいの状態を踏まえて具体例が例示しているが、学習上又は生活上の困難が似ている場合には、指導内容例が参考にできます。

★自立活動の具体的な指導内容を考える際の配慮事項です。指導内容を考える際に学年に合わせて次の点を意識しましょう。

ア　主体的に取り組む　　イ　改善・克服の意欲を喚起　　ウ　発達の進んでいる側面を更に伸ばす
エ　自ら環境と関わり合う（幼稚部のみ）　　オ　自ら環境を整える　　カ　自己選択・自己決定を促す
キ　自立活動を学ぶことの意義について考えさせる

自立活動の配慮事項についての詳しい説明は、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』の111～118ページに掲載されています。詳しくはそちらをご覧ください。

Go!Go!授業づくり!シート

自立活動用　記入のポイント

幼児児童生徒名	A	B	C	D
単元の指導目標 区分と項目				
手立て（単元を通して）				

★単元の指導目標欄には、単元の指導目標、区分と項目を抜き出します。

日時	活動内容	A	B	C	D	準備物
		手立て 記録				
		手立て 記録				
		手立て 記録				
		手立て 記録				

★「手立て」には、単元を通してと同じ手立てであれば記入はしません。この時間の手立てがあれば、記入をします。

★「記録」には、この時間の幼児児童生徒の活動の様子を記録します。

幼児児童生徒の評価	幼児児童生徒名	評　価
	A	
	B	
	C	
	D	

★幼児児童生徒の評価には、「単元の指導目標ができたか。」だけでなく、「幼児児童生徒がどのような点でつまずきがあったのか」「指導目標に向かって努力したことや努力しようとした態

指導に対する評価	評価の視点	①活動内容	②活動量	③活動の流れ
		④教具	⑤活動の場の配置	⑥指導目標の妥当性

★6つの評価の視点からこの単元を振り返り、指導の改善を行います。

「活動内容、活動量、活動の流れ、教具、活動の場の配置」が適切だったか、「目標の妥当性」は、単元の指導目標が幼児児童生徒の実態に合っていたかについて、振り返ります。気がついた視点について振り返りを行いましょう。